

日本史プリント(江戸⑩)

《鎖国の動揺》

～ 松平定信の頃 ～

1792年	() (露)が根室に()を護送、通商を求める ⇒松前にて幕吏から信牌(長崎入港許可)を取得 [記録]: 桂川甫周『北槎聞略』
1804年	() (露)が長崎へ津太夫を護送 [記録]: 大槻玄沢『環海異聞』 ⇒幕府の対応にロシアが反発、樺太・択捉を攻撃
1806年	文化撫恤令(文化の薪水給与令) …外国船に薪水等を給与し穏便に退去させる法律
1808年	() …英軍艦が蘭船捕獲のために長崎に侵入、食料等を強奪 ⇒長崎奉行松平康英が責任を取り、自害
1811年	() …幕府は国後でロシア人ゴローウニンを捕縛 ⇒ロシアは報復に高田屋嘉兵衛を抑留 ゴローウニンの手記: 『日本幽囚記』
1825年	() (無二念打払令) …清・朝鮮・琉球以外の外国船を撃退することを命令
1828年	() …ドイツ人医師、シーボルトが国禁の日本地図を持ち出す ⇒地図を与えた天文方高橋景保を投獄
1837年	() …米船が異国船打払令により撃退される ⇒幕府の処置を、尚歯会(蘭学研究)のメンバーが批判 ↓ 幕府は… 尚歯会の()『 』・()『 』を投獄()
1840年	() …英・清間の戦争 ⇒清の敗北。()締結(香港の割譲・開国)

～水野忠邦の頃～

1841年	高島秋帆(蘭学者)による砲術演習
1842年	() …水野忠邦の改革期に異国船打払令を緩和
1844年	オランダ国王ウィレム2世の開国要求 ⇒コープスを派遣
1846年	米の()が浦賀に来航し通商要求 ⇒幕府は拒否
1850年	()に伊豆韮山に反射炉建設を命じる ⇒大砲製造
1853年	米の()が浦賀に来航 + 露の()が長崎に来航 ⇒開国を要求

<開国>

1. 開国への流れ

[背景]: 米の太平洋岸の開発の開始 …カリフォルニアでの金鉱開発の影響

☞ 太平洋航路の発達・北太平洋捕鯨業の寄港地の必要性

[開国要求]: 1853年、東インド艦隊司令長官()が浦賀へ来航

↓
☞ 大統領フィルモアの国書を持参し開国要求

[幕府の対応]: () (老中首座) …挙国的対策の企画。対応を誤り、幕府衰退へ

☆艦隊の脅威に屈し国書を受領、1年後に再来日するように指示

☆幕臣・諸大名に意見を聞く ⇒ 大名の発言力が増加、幕府体制の動揺

☆朝廷に報告 ⇒ 朝廷権威の復活

2. () (1854年) [日本代表] : () [米代表] : ペリー

[締結内容]

- ☆ 下田・箱館の開港 ☆ 難破船乗員の救助、燃料・食料の補給
- ☆ 米国領事の駐在 ☆ アメリカに一方的な最恵国待遇
- ※ 貿易の要求は拒否

() (1854年) [日本全権] : 川路聖謨 [露代表] : プチャーチン

[締結内容]

- ☆ 日米和親条約とほぼ同内容 ☆ 長崎も開港地に追加
- ☆ 択捉島以南を日本領 ⇄ 得撫島以北をロシア領、樺太は両国雑居

↓ 2つの条約締結をうけ...

イギリス・ロシア・オランダとも和親条約を締結 ⇒ 1614～1854年間(213年)の鎖国体制の終結

2. () …開国に備え対外防備を強化 [実施者] : 阿部正弘

- ☆ 海軍伝習所の設置 ☆ 講武所の設置 ☆ 諸大名の大船建造禁止を解く
- ☆ 江戸湾に()を設置 ☆ 人材の登用 ex) 徳川齊昭(前水戸藩主)

<開国とその影響>

1. () (1858年) [日本代表] : () [米代表] : ()

…老中堀田正睦は天皇の勅許を得られず、井伊は無勅許で調印 ⇒ 対幕感情の悪化

[締結内容]

- ☆ 下田・箱館に加え、神奈川・長崎・新潟・兵庫の開港 ☆ 通商は自由貿易として行う
- ★() …関税は協定で決定 ★()を承認(=治外法権)
- ☆ 日本側から★の条項について自主的に条約改正を行うことができない



2. () …米と同内容の条約をオランダ・ロシア・イギリス・フランスとも締結

(1) 1859年～ : 交易の開始

- ☆ 横浜・長崎・箱館にて主にイギリスと交易
- ☆ 外国商人と日本商人(在郷商人・売込商)による取引の展開
- ※ アメリカは南北戦争の影響により交易できず

【輸出品】

()・()・蚕卵紙など

【輸入品】

()・()(綿布)が約75%を占める

(2) 開国後の日本経済

- ① 輸出超過による国内物資の欠乏 ⇒ 物価高騰
- ② 金の流出(10万両以上) ⇒ 物価高騰に拍車がかかる
- ③ 旧来の江戸を中心とした流通体制の混乱

(3) 幕府の対策

- ① 貨幣の改鑄 …質の悪い()を鑄造し、海外流出を防止
- ② ()発布 …5つの品目に限り江戸の間屋を経由して流通させる

↳ [五品] : 雑穀・水油・蠟・呉服・生糸

[結果] …貿易に関する反感(物価高など)が高まり、()が起こる一因になる